

# ANNUAL REPORT 2023

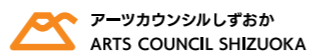


公益財団法人静岡県文化財団

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号  
TEL. 054-203-5710 FAX. 054-203-5716 <https://www.shizuoka-cf.org/>



<https://www.granship.or.jp/>



<https://artscouncil-shizuoka.jp/>

公益財団法人静岡県文化財団

2023年度年次報告書

ご挨拶

公益財団法人静岡県文化財団は、1984年5月の設立以降、個性豊かな県民文化の振興を図り、県民生活の向上と活力あふれる郷土づくりに寄与することを目的として、各種の文化芸術の振興を図る事業に取り組んでまいりました。また、1999年からは、静岡県コンベンションアーツセンターグランシップの管理運営業務を県から受託しているほか、2021年には、当財団内に「アーツカウンシルしずおか」を設置し、県民主体の創造的な活動を支援しております。

さて、2023年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、人々の生活が正常に戻りつつある中、当財団も、予定していた事業をほぼ従来どおりに実施することができ、満席になった公演もいくつかありました。グランシップの施設利用率も次第に回復しており、オンラインを併用したハイブリッド学会が多数開催されたほか、全館規模の学会や全国大会も開催されるようになりました。様々な制限を余儀なくされたコロナ禍を経て、グランシップが再び集いの場となり、多くのお客様の笑顔であふれる様子は、大変感慨深いものでありました。

加えて、2023年は静岡県が「東アジア文化都市」に選定され、全県において様々な文化活動が実施されました。当財団も実行委員会の委員として参加するとともに、地域の民間団体への事業費助成や各種事業等の実施、広報活動など、県のパートナーとして同事業の一翼を担いました。

また、令和6年能登半島地震への支援活動等、社会に貢献する団体としても取組を進めております。

当財団は、今後も、アフターコロナに向けて、昨年度改訂した中期構想のもと一層の研鑽を重ね、時代に即した事業展開を図ることで、文化の力による「心豊かで活力ある社会の持続的な発展」を目指してまいります。



公益財団法人静岡県文化財団 理事長 中西勝則

目次

	2023年度 TOPICS	3
	はじめての劇場しずおか～文化芸術の体験～	4
	創造的な活動への支援～アーツカウンシルしずおか～	16
	グランシップの施設利用	20
	その他の取組	25
	静岡県文化財団を支える人々、ご協賛・ご協力団体・企業	28
	事業体系図	29
	決算状況	30
	沿革・組織図	31

●グランシップ新館長就任

2014年から9年間にわたりグランシップ館長を務めた石塚正孝氏の退任に伴い、2023年6月、宮城聰氏が4代目館長に就任した。世界的な演出家である宮城氏の助言のもと、「文化創造と交流の拠点」として、グランシップの更なる魅力向上を図る。

静岡県の文化政策において、今いちばん大きなテーマは何でしょうか。

僕は、「人口が首都圏に流失しないこと、クリエイティブな人材が静岡に戻ってくること」そして「静岡でなら子どもを育てたいと思う人を増やすこと」の2点だと思っています。この2つは、他のいかなる手段よりも文化政策によって前進が期待できる分野だと言えるでしょう。

「文化のない地域は人口が減少する」という法則はすでに知られてい

ますが、これだけだと、首都圏には文化があるから人が集まるんだ、と言い換えられてしまいます。むしろ東京のような巨大都市にはない文化を静岡は生み出せるんだと発信しなければならないと僕は思います。

静岡県文化財団には素晴らしいスタッフが揃っています。このメンバーとともに静岡文化の発信に全力で取り組んでいきたいと思っています。



©Ryota Atarashi

宮城聰 みやぎさとし

1959年、東京都出身。演出家。東京大学で演劇論を学び、1990年ク・ナウカ旗揚げ。2007年にSPAC（静岡県舞台芸術センター）芸術総監督に就任。2018年芸術選奨文部科学大臣賞（演劇部門）受賞。2019年フランス芸術文化勲章シュヴァリエ受賞。2023年第50回国際交流基金賞受賞。

●令和6年能登半島地震への支援

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」にて被害にあわれた方への支援にお役立ていただくため、1月から3月のグランシップ企画事業を「令和6年能登半島地震支援事業」とし、募金活動を実施した。多くのお客様にご協力いただき、お預かりした募金とグランシップ企画事業の売上の一部を合わせた1,101,623円を、日本赤十字社に寄付した。

2024年度は、被害を受けた石川県の文化財等の復興を支援するため、6月から8月のグランシップ企画事業において、募金活動を実施するなど、取組を継続している。



## はじめての劇場しずおか～文化芸術の体験～

公益財団法人静岡県文化財団では、地域や世代、障害の有無に関わらず、多くの県民が多彩な文化芸術に触れられるよう取り組んでいる。特に子どもの中から多彩な文化芸術を体験し、豊かな感性や想像力を育むことを重点目標の一つとしている。

### 未来を担う子どもたちのために

子どもたちがはじめて文化芸術に出会う場として、伝統芸能やクラシック音楽など、多彩な芸術体験を提供した。舞台芸術の鑑賞や演奏活動を通して、子どもたちが未知の世界や多様な価値観に触れる機会となった。

#### ● 国立劇場 歌舞伎鑑賞教室 6月26日(月) 中ホール・大地 1,504人

グランシップでは、日本が誇る伝統芸能である歌舞伎を、中学生・高校生が鑑賞する取組を例年行っている。前半は若手歌舞伎役者が登場し、歌舞伎の魅力や演目のあらすじをユーモアを交えながらわかりやすく語り、後半はヤマタノオロチ伝説を描いた作品「日本振袖始-八岐大蛇と素戔鳴尊-」を鑑賞した。8つの頭を持つ大蛇であるヤマタノオロチは複数の役者が集まることで演じられ、生徒たちはヤマタノオロチが次々に姿を変えて動き回る様子に見入っていた。学校から会場までの交通費を静岡県文化財団が負担する制度を活用した遠隔地からの来場もあり、県内広域の生徒に歌舞伎鑑賞の機会を提供した。



#### 生徒の声

- 声の強弱や光の明暗があって臨場感を感じることができた。
- アクロバティックな動きがあり、思っていたより躍動感があった。
- 楽器の音色が洗練されていて聴き入ってしまった。
- 役者の動作が美しく引き込まれた。

#### ● 中高生のためのオーケストラ

11月17日(金) 中ホール・大地 1,042人

静岡県内の中学生・高校生が国内屈指のオーケストラのコンサートを体験。生徒たちはチケットを手にして入場、自分の席を探して着席。入場から鑑賞まで、本格的な劇場体験の機会となった。ステージに登場した東京都交響楽団が演奏した曲は、誰もが知る名曲であるベートーヴェンの交響曲第5番「運命」。演奏家たちが一体となって奏でる力強い演奏に、生徒たちは動画やイヤホンから聴こえる音とは異なる生の音の迫力を体感した。指揮者やコンサートマスターが語り掛けるシーンもあり、熱心に耳を傾けていた。



#### 生徒の声

- 動画と違って、生で見ると楽器の音や指揮者の動き、迫力がすごかった。
- 弦楽器の生の音を聴くのは初めてだったが、優しく柔らかい音色が心地よかった。
- 演奏をしている人たちの一体感に感動した。動きがそろっていて綺麗だった。
- 映像では聞き取れなかった音が、生の演奏では聞き取れた。

#### ● ウィーンの風～ウィーン木管五重奏団 10月6日(金) 中ホール・大地 443人



音楽の都・ウィーンを拠点に、ウィーン・フィル等の著名なオーケストラで活躍する5人の奏者が来静。コンサートでは、静岡県立清水南高等学校・同中部 管弦楽部がウィーンの奏者と同じステージに立ち共演を果たした。公演前日、奏者は学校を訪問。アドバイスをしながらリハーサルを行い、本番を迎えた。世界レベルの演奏に間近で触れることができ、生徒たちにとってかけがえのない経験となった。また、生徒たちは、日本が正式に初参加したウィーン万国博覧会150周年を記念して、事前にオーストリアやウィーンにまつわる事物を調べ、会場のロビーにパネル展示を行うほか、リーフレットにまとめて当日の来場者へ配布した。音楽を通して国際交流が行われた。



#### 生徒の声

- ウィーンの奏者の息遣いや感情の抑揚を間近に感じることができた。
- ウィーンの奏者のカデンツァで、これが音楽なのだと感じた。
- 奏者が吹くときに力を抜いて吹いていた。その音がとても遠くまできれいに響いていて、自分との違いが分かった。
- 英語や日本語でコミュニケーションをとれたのも楽しかった。

## 文化芸術を県内各地の子どもたちへ

子どもたちをはじめとする県民がより身近な場所で文化芸術に触れるよう、県内全域で出前公演・アウトリーチ事業を実施。市町の文化施設や学校の協力のもと、より広域的に文化芸術を届けた。

### ● 歌舞伎レクチャー

6/14(水)  
静岡県立浜松湖北高校佐久間分校  
61人



「国立劇場 歌舞伎鑑賞教室」へ参加する静岡県立浜松湖北高校佐久間分校で、事前レクチャーを実施。知識を深めて鑑賞に備えることに加えて、女方のしぐさを真似たり、舞台上で使用する道具に触れる体験を通して、生徒たちが歌舞伎に親しみを持つ機会となった。

### ● フィンランド発 驚異のハーモニカ・カルテット 「スヴェング」ミニコンサート

1/26(金)  
磐田市立豊田東小学校 384人

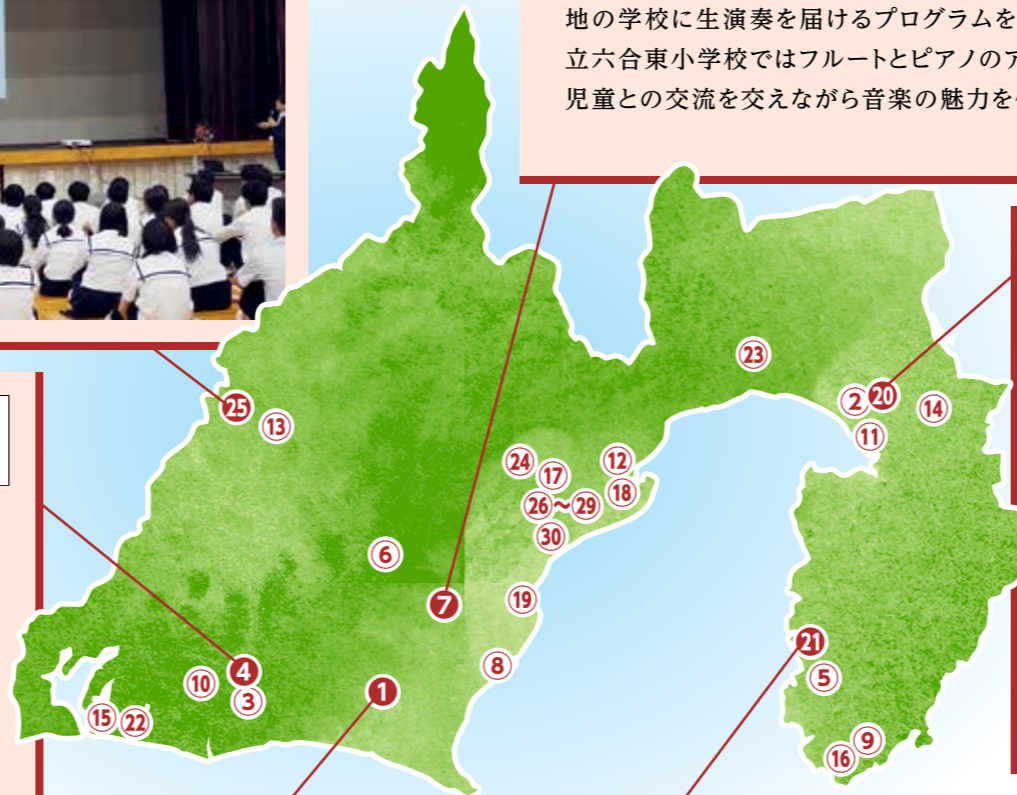


コンサート本番の前日にアーティストが地元の小学校を訪問。子どもたちは手作りのウェルカムボードやフィンランド語の挨拶で出迎えた。伝統的なダンス音楽が演奏されると、子どもたちは自由に踊ったり手拍子をしたり、全身で音楽を楽しんだ。国や文化への活発な質問も飛び交い交流を深めた。

### ● 【出前公演(菊川市)】 世界のこども劇場2023

8/2(水) 菊川文化会館アエル 大ホール 162人

言葉の壁を越えて0歳から楽しめるステージとして開催している「世界のこども劇場」。チリとスペインのメンバーによる劇団LLAVE MAESTRAの遊び心あふれる作品「パレイドリア」を上演し、菊川市をはじめとする西部地区の子どもたちに世界のパフォーマンスに触れる体験を届けた。



### ● グランシップ登録アーティスト ミニコンサート

6~12月 県内小学校・特別支援学校8校 計743人

専門家による研修を受けた静岡ゆかりの音楽家4グループが、県内各地の学校に生演奏を届けるプログラムを8校(⑥~⑬)で実施。島田市立六合東小学校ではフルートとピアノのアンサンブル「Duologue」が、児童との交流を交えながら音楽の魅力を伝えた



### ● 詩人と語ろう! ことばを語ろう!

10/29(日) 三島北高等学校 文芸部 10人

詩人野村喜和夫を講師に迎え、静岡県立三島北高校文芸部の生徒が連詩の創作に挑戦。言葉の力を再発見しながら試行錯誤の末に完成した作品は、「しずおか連詩の会in三島」当日の会場で披露された。



### ● 狂言ワークショップ

10/23(月) 西伊豆町立仁科小学校 52人

伝統芸能事業を劇場での公演で終わらせるのではなく、地域と連携したプログラムとして展開し普及していくことを目指すプログラム。日本の芸術の魅力とともに、芸術家の物事に対する姿勢などを伝えることにも重点を置いている。狂言方能楽師が教壇に立ち、狂言の歴史や、能舞台・道具について紹介した後、摺り足の体験と、「棒縛り」の実演を鑑賞した。



公演名	開催場所	公演名	開催場所
① 世界のこども劇場2023 「パレイドリア」	菊川文化会館アエル 大ホール	⑧ グランシップ登録アーティストミニコンサート(Duologue)	静岡県立吉田特別支援学校
② 2023年 しずおか連詩の会in三島	三島市民文化会館	⑨ グランシップ登録アーティストミニコンサート(ALBOSTリオ)	南伊豆町立南伊豆東小学校
③ フィンランド発 驚異のハーモニカ・カルテット「スヴェング」	アミューズ豊田 ゆやホール	⑩ グランシップ登録アーティストミニコンサート(ALBOSTリオ)	浜松市立北浜東小学校
④ フィンランド発 驚異のハーモニカ・カルテット「スヴェング」ミニコンサート	磐田市立豊田東小学校	⑪ グランシップ登録アーティストミニコンサート(TrioWINGS)	沼津市立千本小学校
⑤ グランシップ 誰もがWonderful アート「うずを描こう!ワークショップ」	静岡県立伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校	⑫ グランシップ登録アーティストミニコンサート(ミナトナニカ)	静岡県立清水特別支援学校
⑥ グランシップ登録アーティストミニコンサート(TrioWINGS)	静岡県立吉田特別支援学校駿遠分教室	⑬ グランシップ登録アーティストミニコンサート(ミナトナニカ)	浜松市立気田小学校
⑦ グランシップ登録アーティストミニコンサート(Duologue)	島田市立六合東小学校	⑭ 人形浄瑠璃 文楽 出前講座	函南町立函南中学校

公演名	開催場所	公演名	開催場所
⑮ 人形浄瑠璃 文楽 出前講座	浜松市立舞阪中学校	⑳ 詩人と語ろう!ことばを語ろう!	三島市民文化会館
⑯ 六代目宝井馬琴監修 講談教室	南伊豆町立南中小学校	㉑ 狂言ワークショップ	西伊豆町立仁科小学校
⑰ 六代目宝井馬琴監修 講談教室	静岡市立安西小学校	㉒ 貼り絵ワークショップ	静岡県立浜松特別支援学校
⑱ 玉川奈々福の浪曲教室	静岡市立清水船越小学校	㉓ 歌舞伎レクチャー	富士市立大淵中学校
⑲ 玉川奈々福の浪曲教室	焼津市立焼津南小学校	㉔ 歌舞伎レクチャー	静岡市立薬科中学校
㉓ 歌舞伎レクチャー	静岡県立浜松湖北高校佐久間分校	㉕ 歌舞伎レクチャー	静岡県立浜松湖北高校佐久間分校
㉔ グランシップ×県内大学連携事業 歌舞伎入門講座	グランシップ	㉖ グランシップ×県内大学連携事業 「人形浄瑠璃 文楽」入門講座	グランシップ
㉕ グランシップ×県内大学連携事業 「人形浄瑠璃 文楽」入門講座	グランシップ	㉗ グランシップ×県内大学連携事業 宝井琴鶴の講談教室	グランシップ
㉖ グランシップ×県内大学連携事業 宝井琴鶴の講談教室	グランシップ	㉘ グランシップ×県内大学連携事業 玉川奈々福の浪曲教室	グランシップ
㉗ グランシップ×県内大学連携事業 玉川奈々福の浪曲教室	グランシップ	㉙ グランシップ×県内大学連携事業 シルクロードが生み出した芸能<能楽>	静岡県立大学
㉘ グランシップ×県内大学連携事業 シルクロードが生み出した芸能<能楽>	静岡県立大学		

## 地域とともに歩む

地域で文化活動に取り組む団体や教育機関、地元企業と連携し、県民が主役となり活躍するステージや作品を創り上げた。子どもから大人まで、地域で暮らすあらゆる人々が文化の担い手となることを目指し、これからも共に歩んで行く。

### ● グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル2023

8月13日(日) 大ホール・海 1,004人



静岡県内で活動するアマチュアビッグバンドによるステージ。県内各地から8組のバンドが出演した。出演バンドは事前にミーティングを重ね、演出や舞台配置、出演・リハーサル時間などを調整。迎えた本番では大ホール・海の大空間を舞台にそれぞれの持ち味を発揮して、個性豊かな演奏を繰り広げた。フィナーレでは各バンドのメンバーによる合同演奏が行われ、バンド同志の交流を深めた。楽器体験コーナーでは、子どもたちがジャズの演奏で使用するドラムセットやグロッケンなどの楽器に触れ、幅広い世代が気軽に音楽を楽しめるイベントとなった。

### ● グランシップ 冬のおくりもの2023

#### こどもたちのための静フィルクリスマスコンサート

12月17日(日) 大ホール・海 1,824人

静岡市を拠点に活躍するアマチュアオーケストラ、静岡フィルハーモニー管弦楽団とともに、子どもたちが楽しめるコンサートを企画した。クラシックだけでなく映画やアニメの音楽を取り入れたリ、ソプラノ歌手による歌や「魔法使いの弟子」の曲では劇の要素も加わったことで、目でも耳でも楽しめるコンサートとなった。大ホールがクリスマスのひとときを楽しむ家族連れで大いに賑わった。



### ● グランシップ 冬のおくりもの2023

#### オリジナルクリスマスツリー

11月13日(月)～12月25日(月) 1階エントランスホール

静岡大学教育学部および地域創造学環の教員と学生と共にオリジナルツリーを製作。学生たちは静岡県の伝統工芸である駿河竹千筋細工で作られたオーナメントを考案。SLや車などの複雑なデザインを、静岡市の有限会社みやび行燈製作所が形にした。地域の教育機関と企業のコラボレーションから生まれたグランシップでしか見られないツリーは、クリスマスシーズンに来場する多くの人の目を楽しませた。

## 世界トップクラスの演奏と革新のステージ

世界最高峰の音楽家による演奏を静岡で鑑賞できる機会を設けるとともに、アーティストの協力のもと、革新的でオリジナリティ溢れる音楽公演を開催。他に類を見ない音楽体験を求めて、静岡県内はもちろん全国から来場者が訪れた。

### ● グランシップリサイタルシリーズ 小林愛実 ピアノ・リサイタル

11月29日(水) 中ホール・大地 798人



2021年に第18回ショパン国際ピアノ・コンクールで第4位を受賞したピアニスト・小林愛実の演奏会を開催。圧倒的な集中力と表現力でショパンとシューベルトの名曲を熟演した。親子での来場者も多く、終演後のサイン会では、アーティストがピアノに取り組む子どもと会話するシーンも。子どもたちが世界最高レベルの演奏とアーティストの人柄に触れられる機会となった。

### ● H ZETT M × 神奈川フィルハーモニー管弦楽団「新しいチカラ」

1月21日(日) 大ホール・海 1,026人

音楽ジャンルにとらわれない自由な世界観と超絶技巧で注目を集めるピアニスト・H ZETT M。自身がこれまで発表した曲を編曲しオーケストラと共に演奏するという、本人にとっても初となるコンサートがグランシップの働きかけで実現した。この日のために作編曲された新曲「青の凶鑑」も披露。全国から集まった音楽ファンから感動の声が寄せられ大きな話題となり、グランシップオリジナルで創られたこのコンサートの様子はBlu-ray化された。



### ● 坂東祐大&文月悠光 音楽と詩と声の現場2024

3月20日(水・祝) 中ホール・大地 204人



映画やアニメの音楽、米津玄師や宇多田ヒカルなど著名アーティストのアレンジメントを手掛け、その動向が常に話題となる作曲家・音楽家の坂東祐大による音楽と、若い世代を中心に共感を集める詩人・文月悠光が紡ぐ言葉が創り出す新しい形の演奏会をオリジナルで制作。この日が初披露となる新作楽曲も演奏。フルート・ギター・ヴァイオリンの高い演奏力と朗読により生み出されたインパクトのあるステージは、これまでにない音楽体験をもたらした。

## 次世代へ伝える伝統芸能

若い世代をはじめ多くの県民が伝統芸能に親しむことができるよう様々な工夫を凝らした伝統芸能の公演を実施。実演家による指導や演技を間近で見る機会を作り出し、日本文化の魅力を次世代へ伝えた。

### ●グランシップにつぼんこども劇場～文楽わんだーらんど～ 7月9日(日) 中ホール・大地 186人



グランシップでは、静岡のこどもたちが日本の伝統芸能に触れられるよう、伝統芸能の実演家の協力を得てオリジナル企画「につぼんこども劇場」を実施している。前半は、太夫・三味線・人形遣いがそれぞれの役割について解説し、最後に「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」を上演。子どもたちは間近での熱演にじっと見入っていた。後半は体験の時間とし、文楽人形を動かしたり三味線を弾く体験、太夫の格好での写真撮影、舞台装置の雪を降らせる体験など、文楽技芸員とのふれあいもあり、楽しみながら日本の伝統芸能への関心を育んだ。

### ●人形浄瑠璃 文楽

10月8日(日)  
中ホール・大地 874人

太夫・三味線・人形遣いが三位一体となり創り上げる「人形浄瑠璃 文楽」。昼の部では文楽三大名作の一つとされる「義経千本桜」、夜の部では世話物の名作・お半長右衛門で知られる「桂川連理柵」を上演。鑑賞サポートとして、文楽技芸員によるあらすじ解説や字幕を用意。ロビーでは文楽人形のお出迎え、夜の部限定企画として富士市出身の文楽人形遣い・桐竹勘次郎によるミニレクチャーや、日本茶インストラクターによる呈茶サービスを実施。初めての方でも気軽に文楽を楽しんでいただける機会となった。



### ●グランシップ静岡 能楽入門公演

9月10日(日)  
中ホール・大地 572人



はじめて能楽に触れる方にも気軽に鑑賞できる公演として毎年好評の「能楽入門公演」。前半では県内の子どもたちが3か月間の能のお稽古に取り組んだ成果を披露、また「東アジア文化都市2023 静岡県」に関連し、中国が舞台となる仕舞「邯鄲」を上演した。後半は、2023年の大河ドラマで注目を集めた徳川家康に関連した能「野守」をダイジェスト能で上演。日本を代表する伝統芸能である能楽の魅力とともに、徳川家康も幼少期から愛好した能楽を解説やパネル展示とともに紹介することで地域の歴史にも興味を持ってもらう機会となった。

### ●グランシップ寄席～ニホンノコワイハナシ 落語・講談・浪曲で震える夏～

7月23日(日) 中ホール・大地 478人



立川談笑



神田阿久鯉



玉川奈々福



林家つる子

日本の三大話芸、落語・講談・浪曲の名手たちが、「怪談」をテーマに演じたグランシップオリジナル企画。ロビーや会場内も、照明や音響の効果で普段とは全く異なるしつらえにし、怪談にふさわしい妖しい雰囲気でも来場者を出迎えた。落語家の立川談笑は、この日のために創作した新作落語を披露した。それぞれの芸能が持つ独自の魅力や、日本の話芸の奥深さを再発見する機会となった。



## 作品をより深く、重層的に体験する展覧会

展示作品をさらに深く味わうために、展示期間中に様々な関連イベントを開催。作品が生まれた背景を知り、様々な角度から作品の魅力に触れられるよう、トークや演奏を交えて実施した。

### ● 平間至写真展「写真は愛とタイミング！」 7月25日(火)～8月20日(日) 6階展示ギャラリー 2,012人

まるで音楽が聴こえてくるような躍動感のあるミュージシャンのポートレートや、かけがえない一瞬を捉えた家族写真などで知られる写真家・平間至の写真展。初期作品から最新作、愛用してきた歴代のカメラなどに加え、平間が写真について語った言葉を展示。被写体へ注がれる温かなまなざしと、一瞬を捉える鋭い感覚が結実した作品群に、写真芸術の可能性を感じられる展覧会となった。



### 1 「写真家・平間至のギャラリートーク」

平間至自身が、来場者と共に展示会場を巡り、作品について語るギャラリートークを開催。作品への思いや、撮影時の裏話など、軽妙なトークで来場者を楽しませた。



### 2 「平間至×高野寛 トーク&ライブ『17歳・5月の海～あれから3年』」



平間至と静岡県出身の音楽家・高野寛によるイベント。静岡市出身の高校生をモデルにした平間の写真を使用した映像と詩の朗読、高野のギターによるセッションは、写真の新たな魅力を感じられるコラボレーションとなった。

## 文化を支える人を育てる

県内の文化施設に関わる職員を対象に研修を実施。知識の共有だけでなく、悩みや問題意識を分かち合う連携の場となった。また、学生には体験を通してより実践的な学びが得られるインターンシップ制度を用意した。

### ● 静岡県公立ホール連携支援研修

静岡県内の公立文化施設等で文化事業に携わる職員を対象に、知識の研鑽や問題意識の共有を図る研修を実施している。2023年度は「地域のアーティストの活用・協働」をテーマに全9回の講座を開催。また、グランシップが静岡県ゆかりの音楽家であるグランシップ登録アーティストと協働して実施している学校でのコンサートを実地体験するフィールドワークも行った。



開催日	テーマ	講師
6/22(木)	『研修のミッションを共有するためのキックオフミーティング』	坂元勇仁(レコーディング・ディレクター) 花田和加子(ヴァイオリニスト、(一社)アンサンブル・ノマド マネージャー)
7/5(水)	『公共文化施設の新しい役割』	平田オリザ(劇作家・演出家・劇団青年団主宰 芸術文化観光専門職大学学長 こまばアゴラ劇場、江原河畔劇場芸術総監督)
8/1(火)	『ちいさな公共施設の挑戦～愛されるTwitter活用術～』	小倉香代(日本コロムビア株式会社 地域ビジネス開発室) 坂元勇仁
8/30(水)	『劇場を中心とした新たなコミュニティの構築を目指して』	権田康行/東りいたみホール(伊丹市立文化会館)館長
9/19(火)	『地元アーティストと歩み、育つー長久手市文化の家と静岡県内の公立ホールの取り組み』	生田創(長久手市文化の家 館長、 長久手市くらし文化部 生涯学習課長)
10/16(月)	『部活動の地域移行ー公立ホールに何ができるかー』	中澤篤史(早稲田大学スポーツ科学学術院教授)、坂元勇仁
11/8(水)	オリジナル事業の企画・立案	坂元勇仁、花田和加子
11/28(火)	オリジナル事業のプレゼンテーション/振り返りとまとめ	
2024/2/26(月)	フォローアップセミナー	

### ● インターンシップ

財団運営や企画事業制作、貸館営業促進、アーツカウンシル事業など、静岡県文化財団が担う業務を幅広く知る研修を、6～9月にかけて約10日間実施。県内外の大学生を中心に14人が参加し、座学から実地研修まで様々な経験を通じ、将来への選択肢を広げる機会となった。12月にも短期インターンシップを実施し、8人が参加した。



令和5年度 主催事業（企画事業）

戦略目標	事業形態	日程	催事名	出演者・内容等	会場 財団・静岡県以外の主催・共催等
子ども、子育て	鑑賞	8/4(金)~6(日)	グランシップ 世界のこども劇場2023	出演:ラ・ヤーベ・マエストラ(チリ・スペイン) 演目:レイドリア to R mansion(日本・スウェーデン) 演目:風のみた夢へんてこうじょう	中ホール・大地
子ども、子育て	鑑賞	8/2(水)	【出前公演】世界のこども劇場2023	出演:ラ・ヤーベ・マエストラ(チリ・スペイン) 演目:レイドリア	菊川文化会館アエル
子ども、子育て	鑑賞	7/9(日)	にっぽんこども劇場 文楽わんだーらんど(2公演)	出演:人形浄瑠璃文楽座 演目:伊達娘恋緋鹿子~火の見櫓の段	中ホール・大地
子ども、子育て	鑑賞	8/20(日)	【共催】夏の「絵日記」コンサート オークストラキャラバン静岡公演	管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団 指揮:松川智哉 ピアノ:務川慧悟 他 曲目:久石譲 オークストラストーリーズ とのりのトロ 他	中ホール・大地 主催:(公社)日本オーケストラ連盟 (公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団 共催:(公財)静岡県文化財団
子ども、子育て	教育普及	6/26(月)	国立劇場歌舞伎鑑賞教室(2公演)	出演:中村扇雀、中村虎之介 他 演目:解説 歌舞伎のみかた 日本振袖始一八岐大蛇と素戔鳴尊一	中ホール・大地
子ども、子育て	教育普及	11/17(金)	中高生のためのオーケストラ(2公演)	管弦楽:東京都交響楽団 指揮:小泉和裕 曲目:ベートーヴェン 交響曲第5番「短調」「運命」 他	中ホール・大地
子ども、子育て	教育普及	11/22(水)	伝統芸能普及プログラム<大学連携> 伝統芸能講演会	講師:宝生和英(シテ方宝生流第二十代宗家) タイトル:シルクロードが生み出した芸能<能楽>	静岡県立大学
子ども、子育て	教育普及	6月~12月	【グランシップ子どもアート体験!】登録アーティスト ミニコンサート ※実施詳細は6.7ページに掲載	講師:人形浄瑠璃文楽座 実演:伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段	県内小学校・特別支援学校 8校
子ども、子育て	教育普及	7/10(月),11(火)	【グランシップ子どもアート体験!】人形浄瑠璃文楽出前講座(2校)	講師:人形浄瑠璃文楽座 実演:伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段	函南中学校(函南町) 舞阪中学校(浜松市)
子ども、子育て	教育普及	10/17(火), 11/20(月)	【グランシップ子どもアート体験!】宝井馬琴監修講談教室(2校)	講師:宝井琴星(講談師)、宝井琴鶴(講談師)	南中小学校(南伊豆町) 安西小学校(静岡市)
子ども、子育て	教育普及	12/20(水),21(木)	【グランシップ子どもアート体験!】玉川宗々福の浪曲教室(3校)	講師:玉川宗々福(浪曲師)、沢村まみ(曲師) 実演:浪曲シンデレラ	清水船越小学校(静岡市) 焼津南小学校、焼津北小学校(焼津市)
子ども、子育て	教育普及	10/23(月)	【グランシップ子どもアート体験!】狂言ワークショップ(3校合同)	講師:三宅右矩、三宅近成、金田弘明(狂言方和泉流能楽師) 実演:棒縛	仁科小学校、田子小学校、賀茂小学校(南伊豆町)
子ども、子育て	教育普及	7/9(日)	伝統芸能普及プログラム<大学連携> 文楽ワークショップ ※一般参加者有料で実施	講師:人形浄瑠璃文楽座 実演:伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段	中ホール・大地
子ども、子育て	教育普及	12/20(水)	伝統芸能普及プログラム<大学連携> 浪曲ワークショップ	講師:玉川宗々福(浪曲師)、沢村まみ(曲師) 実演:物くさ太郎	映像ホール
子ども、子育て	教育普及	11/20(月)	伝統芸能普及プログラム<大学連携> 講談ワークショップ	講師:宝井琴鶴(講談師) 実演:那須与一 扇の的	映像ホール
子ども、子育て	教育普及	5/24(水)	伝統芸能普及プログラム<大学連携> 歌舞伎ワークショップ	講師:国立劇場制作部歌舞伎課 職員	映像ホール
子ども、子育て	教育普及	5/17(水),24(水) 6/14(水)	伝統芸能普及プログラム<教育普及> 歌舞伎ワークショップ	【国立劇場歌舞伎鑑賞教室】を鑑賞する学校を対象にした国立劇場職員による歌舞伎ワークショップ 講師:国立劇場制作部歌舞伎課 職員	大洲中学校(富士市) 藤科中学校(静岡市)、静岡県立浜松湖北高北久岡分校(浜松市)
子ども、子育て	教育普及	1/26(金)	【出前公演】アウトリーチ スヴェング ミニコンサート	出演:ハーモニカ・カルテット スヴェング 曲目:映画「ハウルの動く城」より「人生のメリーゴーランド」他	豊田東小学校(豊田市)
子ども、子育て	教育普及	10/29(日)	詩人と語ろう!言葉を語ろう!	「しずおか連詩の会」に運動した、県内高校文芸部で活動する高校生と詩人が交流して連詩を創作するワークショップ 講師:野村喜和夫(詩人) 参加:静岡県立三島北高校文芸部	三島市民文化会館
子ども、子育て	教育普及	6/29(木)	【グランシップ子どもアート体験!】貼り絵ワークショップ	特別支援学校で学ぶ生徒一人一人の表現・魅力を引き出す貼り絵のワークショップ 講師:福井揚	浜松特別支援学校(浜松市)
子ども、子育て	県民参加	5/3(水・祝)、4(木・祝)	東アジア文化都市 東アジア文化交流フェア EASTASIA meets SHIZUOKA	東アジア文化都市のオープニングに関連して開催した、日中韓のダンスや音楽のステージ、食や伝統的な遊びに関するワークショップなど、気軽に文化を楽しむイベント	大ホール・海 他
子ども、子育て	県民参加	5/20(土),21(日)	グランシップトレインフェスタ2023	鉄道模型コーナーや駅弁販売等、鉄道ファンから親子連れまで、家族で楽しめる日本最大級の鉄道イベント	全館
子ども、子育て	県民参加	12/17(日)	冬のおくりもの2023 キノイグラーの不思議の国のえいがかん	小さな子どもたちが家族と一緒に世界各国の映画を楽しむ映画鑑賞会 出演:キノイグラー、近藤康平(ライブペインティング) 他 上演:弟の夢、Christmas(外山光男)他	大ホール・海
音楽文化等	県民参加	12/17(日)	冬のおくりもの2023 こどもたちのための静フィルクリスマスコンサート	県内で活動する静岡フィルハーモニー管弦楽団による0歳児から楽しめるオーケストラのコンサート 管弦楽:静岡フィルハーモニー管弦楽団 指揮:松村詩史 ソプラノ:Emi 他 曲目:魔法使いの弟子 他	大ホール・海
音楽文化等	鑑賞	7/22(土)	東京グランド・ソロイスト	出演:三浦一馬(バンドネオン)、石田泰尚(ソロ・ヴァイオリン)、黒木岩寿(コントラバス)、大坪純平(ギター)、石川智(ドラムス) 他 曲目:アストル・ピアソラ リベルタンゴ 他	中ホール・大地
音楽文化等	鑑賞	9/23(土・祝)	挾間美帆 m_unit	出演:挾間美帆(指揮)、土井徳浩(アルト・サクソ) 他 曲目:挾間美帆:Abeam.Portrait of Guess 他	中ホール・大地
音楽文化等	鑑賞	10/23(月)	ピアノ:アレクサンダー・ガジェヴ ピアノ・リサイタル	ピアノ:アレクサンダー・ガジェヴ 曲目:ショパン スケルツォ第3番嬰ハ短調Op.39、ムソルグスキー 組曲「展覧会の絵」 他	中ホール・大地
音楽文化等	鑑賞	11/18(土)	小泉和裕指揮 東京都交響楽団 名曲コンサート	管弦楽:東京都交響楽団 指揮:小泉和裕 ヴァイオリン:三浦文彰 曲目:ブルッフ ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 作品26 他	中ホール・大地
音楽文化等	鑑賞	11/29(水)	小林愛実 ピアノ・リサイタル	ピアノ:小林愛実 曲目:シューベルト 即興曲集D935 Op.142、ショパン ポロネーズ第7番変イ長調「幻想」Op.61 他	中ホール・大地
音楽文化等	鑑賞	12/15(金)	平原綾香 20th Anniversary Concert Tour 2023	出演:平原綾香 曲目:おひさま~大切なあなたへ、大きな木の下、JOYFUL JOYFUL、今、風の中で 他	中ホール・大地
音楽文化等	鑑賞	1/12(金)	静岡ガスPRESENTS グランシップ&静岡ニューイヤークンサート	出演:管弦楽/富士山静岡交響楽団 指揮/高関健 ピアノ/高木竜馬 曲目:グリーグ ピアノ協奏曲イ短調Op.16、J.シュトラウスII 喜歌劇「こもり」序曲 他	中ホール・大地 主催:(公財)富士山静岡交響楽団 共催:(公財)静岡県文化財団

戦略目標	事業形態	日程	催事名	出演者・内容等	会場 財団・静岡県以外の主催・共催等
音楽文化等	鑑賞	1/21(日)	H ZETT M × 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 「新しいチカラ」	ピアノ:H ZETT M,管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団,指揮:高井優希 曲目:「新しいチカラ」、「ショーがはじまる」 他	大ホール・海
音楽文化等	鑑賞	1/27(土)	【出前公演】フィンランド発 驚異のハーモニカ・カルテット スヴェング	出演:ハーモニカ・カルテット「スヴェング」ヨーコクツハラ、エーロ・グルンドストルム、エーロ・トゥルカ、パシレイノ 曲目:赤とんぼ、フィンランディア、祖母に捧げるタンゴ、ヘドウィグのテーマ 他	アミューズ豊田 ゆやホール(豊田市)
音楽文化等	鑑賞	3/3(日)	大江千里 ひな祭り ジャズ・ライブ	出演:大江千里(ピアノ) 曲目:うれしいひなまつり、十人十色、エールをおくろう、Rain, My Glory Days 他	中ホール・大地
音楽文化等	鑑賞	3/20(水・祝)	坂東祐大&文月悠光 音楽と詩と声の現場2024	出演:坂東祐大(作曲家・音楽家)、文月悠光(詩人)、多久潤一朗(フルート)、秋田勇魚(ギター)、石上真由子(ヴァイオリン)、矢部華恵(朗読) 曲目:「声の現場」、「花と蜜」より 他	中ホール・大地
音楽文化等	教育普及	10/29(日)	東京都交響楽団 名曲コンサート 事前レクチャー	「東京都交響楽団 名曲コンサート」をより深く理解し、楽しむための事前レクチャー 講師:平野昭(静岡文化芸術大学名誉教授) 内容:ベートーヴェンの交響曲「運命」に迫る!~苦悩から歓喜へ~	映像ホール
音楽文化等	県民参加	8/13(日)	グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル2023	出演:沼津燦々ジャズオーケストラ、Vanguard Jazz Workshop、浜松リハーサル・ジャズ・オーケストラ、ジャズ・リバーズ・オーケストラ、スーパー・プラス・オーケストラ、TAKE HEART BEAT Big Band Jazz Orchestra、ハニーウエストジャズオーケストラ、ザ・シング・ハード・オーケストラ	大ホール・海
音楽文化等	県民参加	予選6/17,18(土・日) 本番8/19(土)	【共催】静岡県学生音楽コンクール	静岡県内のクラシック音楽を志す児童生徒を対象とした音楽コンクール。 弦楽、管楽、声楽、ピアノ4部門で実施	中ホール・大地
音楽文化等	県民参加	4/2(日)	【提携公演】音楽青葉会・静岡児童合唱団 創立80周年記念演奏会 PartI	音楽青葉会・静岡児童合唱団創立80周年を記念して行った演奏会 合唱:静岡児童合唱団、音楽会スベリオル、語り:阿部一徳、バリトン:酒井雄一、ピアノ:須関裕子 他	中ホール・大地
伝統芸能	鑑賞	7/23(日)	グランシップ寄席~ニホンコワイハナシ~	出演:演目:立川談笑(落語「夜、る」)、玉川宗々福(浪曲「亡霊談法」)、神田阿久鯉(講談「村井長庵雨夜の裏田圃」)、林家つる子(落語「お菊の皿」)	中ホール・大地
伝統芸能	鑑賞	10/8(日)	人形浄瑠璃 文楽(2公演)	出演:竹本鑑太夫、豊竹呂太夫、鶴澤清治、桐竹勘十郎 他 演目:義経千本桜~椎の木の段、桂川連理榊~六角堂の段 他	中ホール・大地
伝統芸能	鑑賞	1/27(土)	グランシップ静岡能	出演:宝生和英、大友順、山本泰太郎 他 演目:能「石橋 赤黒」:「鶴亀」、狂言「佐渡狐」	中ホール・大地
伝統芸能	鑑賞	3/17(日)	グランシップ寄席~柳家喬太郎独演会~(2公演)	出演:演目:柳家喬太郎(同棲したい、夢の酒、禁酒番屋 他)、柳家喬志郎(ハッピーエクスプレス 他)、柳家小太郎(粗忽の釘 他)	交流ホール
伝統芸能	教育普及	9/10(日)	グランシップ静岡能 能楽入門公演	出演:山階彌右衛門 他 演目:能「野守」、仕舞「邯鄲」 他	中ホール・大地
伝統芸能	教育普及	8/26(土)	グランシップ伝統芸能シリーズ講演会 岩下尚史の伝統芸能へようこそ!	文楽公演に向けた、文楽にはじめて触れる方を対象に魅力や楽しみ方を紹介する講演会 出演:岩下尚史(作家)、桐竹勘十郎(人間国宝・文楽人形遣い)	交流ホール
文芸・美術	鑑賞	7/25(火)~ 8/20(日)	平間至 写真展	TOWER RECORDSのコーポレート・ボイスである、「NO MUSIC, NO LIFE.」のポスター撮影を手掛けている写真家・平間至の写真展。期間中にギャラリートーク、トークライブを各1回開催。	展示ギャラリー
文芸・美術	鑑賞	10/15(日)	本と音楽の素敵な出会い~「ラブカは静かに弓を持つ」	出演:安達美緒、横坂源(チェロ)、沼沢淑音(ピアノ)、浦久俊彦(ナビゲーター) 曲目:カッチーニ アヴェ・マリア 他	中ホール・大地
文芸・美術	鑑賞	11/12(日)	【出前公演】2023年しずおか連詩の会 in 三島	本県出身の詩人・大岡信氏が提唱した連詩の創作と発表 出演:参加:野村喜和夫、田原、岡野大嗣、文月悠光、小野絵里華 タイトル:「約束を潜めた歴史」の巻	三島市民文化会館
文芸・美術	県民参加	8/26(土)~ 9/10(日)	グランシップ 誰もがWonderfulアート	表現や個性を認め合うことを目的とした展覧会 県内在住の現代美術家・演奏家白砂勝敏氏と静岡県内特別支援学校の生徒・児童の作品展。期間中に鑑賞ツアー、音楽会を各1回開催	展示ギャラリー
文芸・美術	県民参加	2/17(土)~ 3/3(日)	高松宮妃のおひなさま展	徳川慶喜の孫にあられる高松宮妃喜久子さまがご成婚時にお持ちになったひな人形の展示。 開館25周年を記念し、「だれもが笑顔になる「ここにこ人形展」」を同時開催	展示ギャラリー
文芸・美術	県民参加	2/19(日)	【共催】ふじのくに芸術祭の祭典「授賞式」「総開会式」	ふじのくに芸術祭のメインイベントである春の祭典2022年授賞式と2023年開会式	中ホール・大地
人材育成		2月23日(金・祝)	【出前公演】セカンドイヤー公演 あなたと出会うコンサートin島田	第1期登録アーティスト4組による活動2年目を総括するコンサート 出演:ALBOSTリオ、Duologue、TrioWINGS、ミナトカ	島田市民総合施設 プラザおおり 協力:(株)まちづくり島田

東アジア文化都市2023静岡県コア事業

日程	催事名	出演者・内容等	会場 財団・静岡県以外の主催・共催等
9/29(金) 11/3(金・祝)、4(土)	日中韓映画祭事業 グランシップ 日中韓映画上映会	日中韓の相互文化理解促進を目的とした映画祭。JR草薙駅北口広場でのプレイベント開催で地域との協働も実現。 タイトル:「ビューティ・インサイド」[82年生まれ、キム・ジョン]「ベイビー・ブローカー」(韓国)、「妻への家路」(中国)「そして父になる」(日本)	大ホール・海 他
10/6(金)	音楽交流事業 ウィーン風 ウィーン木管五重奏団	ウィーンで活躍する奏者5人のアンサンブルと、県内で音楽に取り組む学生との交流と共演による公演 出演:ウィーン木管五重奏団、岡部武彦、静岡県立清水南高校中等部管弦楽部、芸術科音楽専攻生 曲目:J.シュトラウスII 喜歌劇「こもり」序曲、J.ブラームス ハンガリー舞曲第5番 他	中ホール・大地

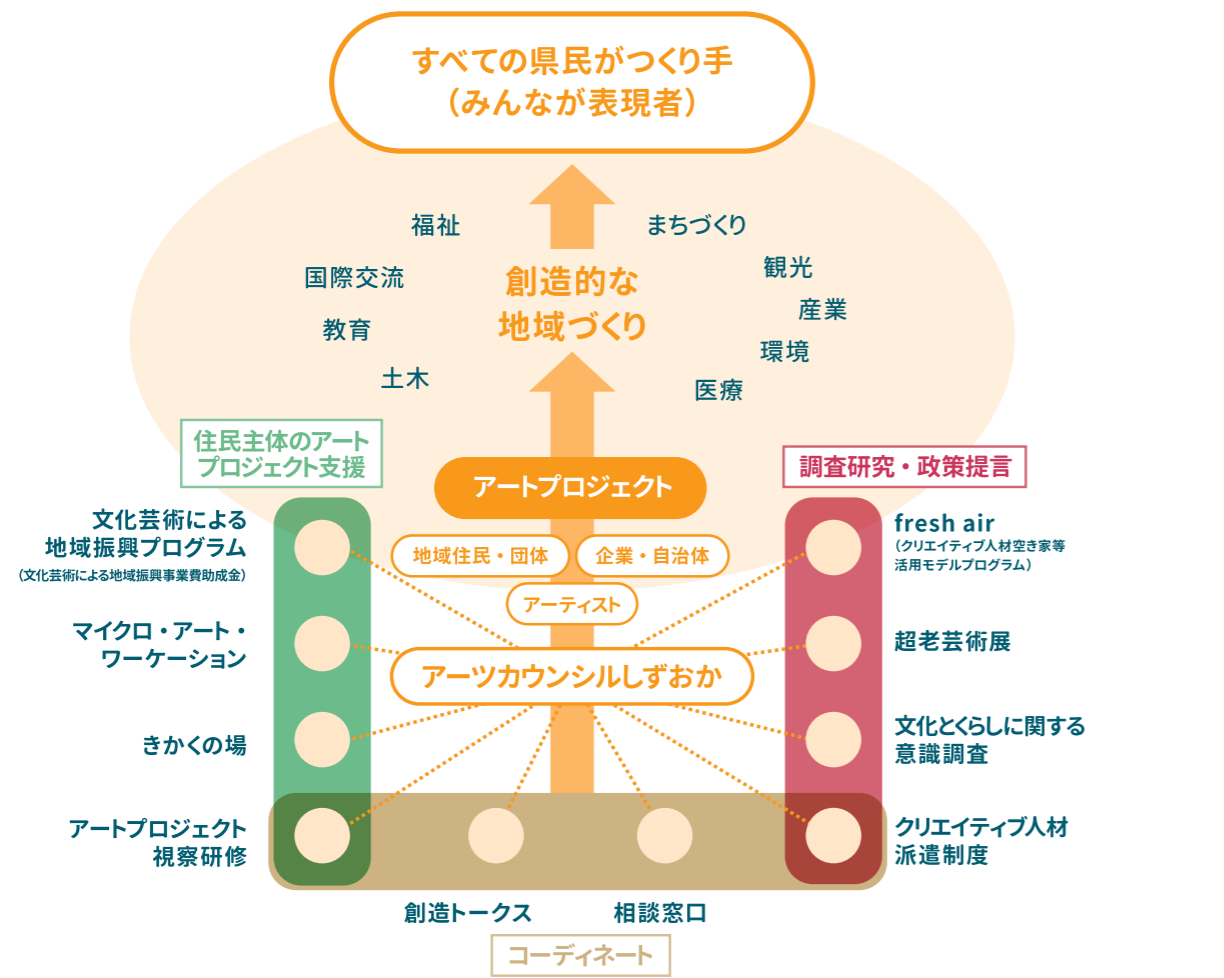


「みんなが表現者」へのステップ

アーツカウンシルしずおかは、文化芸術によって人々の創造性を引き出し、まちづくりや観光、福祉、教育、環境、産業など様々な分野の課題解決や地域資源の活用につなげ、創造的な地域づくりを推進している。

本格稼働3年目となる2023年度は、地域の様々な場面におけるイノベーションの創出に寄与することを念頭に、「住民主体のアートプロジェクト※支援」、「コーディネート」、「調査研究・政策提言」を3つの柱として、事業を展開した。

※アートプロジェクトとは、地域社会において、人々が共同で社会の様々な事象と関わり展開される文化芸術活動のこと。多様な人々による協働のプロセスを重視し、その成果が地域や社会に還元される研究開発のように、いろいろな分野とアートが連携して取り組むものを指す。



2023年度「文化芸術による地域振興プログラム」実施団体による成果報告会

実施事業

1 文化芸術による地域振興プログラム

住民主体のアートプロジェクトを活性化するため、社会の様々な分野の担い手が「住民プロデューサー」となり、地域資源や社会課題を顕在化させ、地域活性化や課題への対応を目指す創造的なプログラムを募集し、採択したプログラムについて、経費の一部を助成するとともに、プログラム・ディレクター、コーディネーターが団体のニーズに応じた助言等の支援を行った。(東アジア文化都市2023静岡県の認証プログラムとしても実施)

制度内容および交付決定

助成金の区分	対象	助成金額上限	補助率上限	応募件数	交付決定件数
地域クリエイティブ支援	先駆的取組を行うプログラム	5,000千円	助成対象経費の4分の3以内 又は2分の1以内	54件	19件
地域はじまり支援	先駆的事業の実施に向けて 試行的に取り組むもの	300千円	助成算定経費の 10分の10	26件	7件

2 マイクロ・アート・ワーケーション(MAW)

住民とアーティスト等のクリエイティブ人材が会おうきっかけをつくり、地域の魅力発信や、関係人口の増加、住民主体のアートプロジェクトの創出などに寄与するとともに、クリエイティブ人材の創作活動に活かしてもらうことを目的にワーケーションを促進する取組。これまで本事業を実施してきた地域からは、ホスト団体とクリエイティブ人材によるイベントが自主的に開催され、2024年度「文化芸術による地域振興プログラム」への応募も見られるなど、新たなアートプロジェクトの動きも出てきている。

区分	受入団体(ホスト)	クリエイティブ人材(旅人)
対象	県内に拠点を置く様々な分野の団体	クリエイティブ人材 (アーティスト、ディレクター等)
募集期間	4月10日(月)~5月8日(月)	5月19日(金)~6月9日(金)
実施期間	8月1日(火)~11月12日(日)の間で、3泊4日~6泊7日(推奨6泊7日)	
応募数	17団体	125人(26都府県)
実施数	13団体	37人(17都府県)

また、本事業が3年目を迎えたことを機に、2023年8月から2024年3月にかけて、「MAW茶会~マイクロ・アート・ワーケーションのその後をゆるゆると追いかけるインスタライブ~」を全10回開催。過去の「旅人」をゲストに招き、滞在中のエピソードや、滞在後に起きた変化などについて聞いた。

3 クリエイティブ人材の派遣制度の運用

文化芸術以外の分野とアーティスト等との連携促進と、連携による創造性の触発を目的とし、県内の企業、行政組織等を主とした団体や組織に対してクリエイティブ人材を派遣する制度を運用した。

派遣実績

派遣先	人数	派遣期間	クリエイティブ人材の関わり
株式会社 中島屋ホテルズ	5人	2023年4月~ 2024年3月	「ローカル」を深掘る社員研修や、静岡の伝統工芸を活用した ものづくりに関する意見交換会を実施した。
ふじのくにに 住みかえる推進本部 (県くらし・環境部)	1人	2023年12月~ 2024年2月(計4回)	「静岡まるごと移住フェア」における漠然層(移住に対する 具体イメージが固まっていない層)の満足度を生むための コミュニケーション促進ツールの企画・提案を行った。

#### 4 fresh air (クリエイティブ人材空き家等活用モデルプログラム)

空き家対策関連事業者に対し、クリエイティブ人材の視点をもたらす効果を訴求することを目指して、空き家活用事業を手掛ける地域団体とクリエイティブ人材をマッチングし、アートプロジェクトの試行や活用プランの提案を行うモデルプログラムを実施した。また、空き家活用に携わる異業種の専門家によるワーキンググループを立ち上げ、アートによる空き家活用における課題や効果、その必要性について議論や検証を行う意見交換会を計4回開催した。

※事業内で実施されるアートプロジェクトや、クリエイティブ人材そのものが地域にとって「新鮮な空気」となり、地域の創造性が触発されることを期待し、事業の呼称を「fresh air」とした。

事業区分	実施内容	実施市町	クリエイティブ人材
アートプロジェクトの試行を通じた空き家等の活用	地域に計30日間滞在し、地域住民と関わりながら、空き家等を活用したアートプロジェクトを試行する。	東伊豆町	1人
		森町	1人
クリエイティブ人材による空き家等活用を目指した企画提案	地域に10日間滞在し、地域住民に向けて空き家等の活用プランを提案する。	沼津市	1人
		浜松市	1人

#### 5 超老芸術展

東アジア文化都市2023静岡専門協働プログラムとして開催。静岡県内や全国の高齢芸術家(22組1,500点以上)の作品を一堂に集め展示したほか、12月にはメタバース上でも公開した。来場者アンケートでは回答者の半数以上が「何か表現活動してみようと思った」と答えるなど、観覧者の表現活動を触発する機会となった。

区分	超老芸術展	メタバース超老芸術展
期間	10月3日(火)~10月8日(日)	12月24日(日)~
会場	グランシップ6階展示ギャラリー	メタバース上
来場者数	1,767人	702view(公開後1ヶ月)



#### 6 創造トークス(文化政策セミナーの開催)

アートを活用したコミュニティ政策や高齢者芸術、空き家活用等に係るセミナーを開催した。ゲストや関係者からの意見や提案を受け、行政等に対する政策提言につなげるねらい。セミナーにはこれまで関係の薄かった行政担当部署の職員が参加するなど、新たなつながりが生まれている。

タイトル	開催概要
超老芸術は「文化」だ! —超高齢社会における文化芸術の可能性—	開催日:10月8日(日) 会場:グランシップ映像ホール 来場者数:63人
コミュニティを創造する ~どうする?どうなる!?コミュニティのニュースタイル	開催日:11月7日(火) 会場:妙祥寺 講堂(富士市) 来場者数:68人
「空き家×アート」セミナー 空き家の新しい価値を見出す・ひらく	開催日:12月15日(金) 会場:森町文化会館 来場者数:61人

#### 7 きかくの場(講座の開催)

開催日:6月25日(日)、9月9日(土)、  
12月10日(日)  
講師:小澤慶介(一社)アート代表理事、  
インディペンデント・キュレーター  
参加者:各回20人



アートプロジェクトの担い手の発掘・育成をめざし、アートプロジェクトを企画運営していくための連続講座「きかくの場」を開催。本講座におけるグループワークを通して、普段は出会わない分野の人々が新たなネットワークを形成した。さらに講座受講者の中から2024年度「文化芸術による地域振興プログラム」助成への応募や、自力での企画を実現する人が数名あった。

#### 8 アートプロジェクト視察研修

開催日:10月27日(金)、30日(月)、  
11月2日(木)、6日(月)  
視察先:「Cliff Edge Project うぶすなの水文学」  
(2023年度文化芸術による地域振興プログラム採択事業)  
会場:貴僧坊水神社(伊豆市)、貴僧坊の里ほか  
参加者:27人(行政職員、地域活動団体等)

まちづくりや観光、福祉、教育など様々な分野で活動している人を対象に、アートプロジェクトへの理解を深め、今後の活動に活かしてもらうことを目的として、先進事例の視察研修を実施。参加者の中から2024年度「文化芸術による地域振興プログラム」への応募者が生まれている。



#### 9 相談窓口

専門スタッフが随時相談に応じたほか、弁護士や税理士、中小企業診断士が、文化芸術活動をサポートする相談窓口を運営した。文化芸術分野をはじめ幅広い見識をもつ平野雅彦特別相談員による相談会も原則、毎月開催した。

また、県内各所(浜松市、磐田市、袋井市、長泉町)にて出張相談窓口を計5回開催し、各地域で活動されている文化団体やアーティスト等の相談に対応することで、今後の相談窓口の活用を探る機会とした。

●相談件数:154件

#### 10 文化と暮らしに関する意識調査

調査時期:2024年3月  
調査対象:静岡県在住者1,000人

制度設計、事業計画立案、政策提言へ活用することを目的として、静岡県民が文化や地域社会に関してどのように感じ、どのように文化芸術活動が行われているかを把握するためのアンケート調査を実施した。

アーツカウンシルしずおか  
2023年度事業の詳しい実施状況は  
【アーツカウンシルしずおか  
アニュアルレポート2023】  
を参照のこと



# グランシップの施設利用

新型コロナウイルス感染症が、2023年5月に「5類感染症」に移行したことを受けて、従来の「集いをささえるグランシップ」として、施設の利用や催事開催に必要なサービスの提供を進めた。

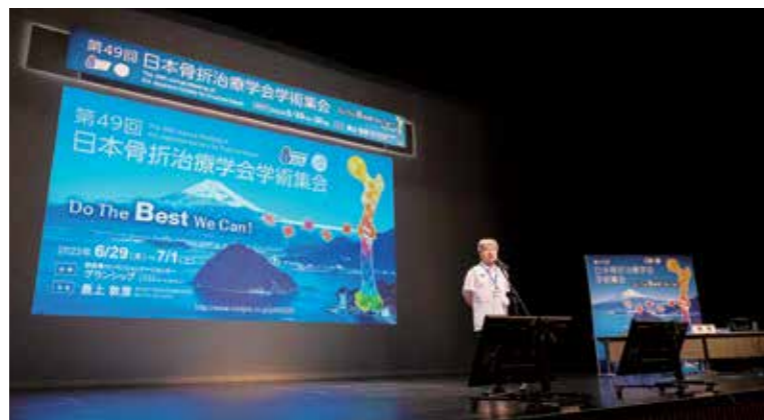
## ●新しいニーズへの対応と賑わいの創出

対面開催の条件が緩和され、全館規模の学会・全国大会等が制限なく開催されるようになった。また、オンラインを併用したハイブリッド学会が数多く開催された。

### ●第49回日本骨折治療学会学術集会

主催:順天堂大学医学部附属静岡病院 整形外科  
6月29日(木)~7月1日(土) 全館 約1,800人

静岡県初開催。「骨折」を中心とした整形外科外傷の治療および関連する諸問題を研究し、その成果をもとに発表・討議・人的交流を図ることで、人類の健康の保持・増進に資することを目的とした学会。事前オンデマンド配信、1~2日目現地開催、3日目ライブ配信、事後オンデマンド配信の、ハイブリッド形式で実施された。



### ●東静岡周辺のにぎわいに寄与する、屋外広場活用イベント

大ホール・海およびグランシップ広場を一体的に使用することで、ホールでの屋内イベントと広場でのマルシェやステージ発表などの屋外イベントの同時開催を実現。目的に合わせた開催場所を提供し、東静岡地区のにぎわいを創出した。

### ●ヒガンフェスティバル

主催:静岡県スポーツ・文化観光部 企画政策課  
11月23日(木・祝)  
大ホール・海、グランシップ広場 約3,000人

県内7大学のゼミ等による研究成果発表やトークイベント、飲食の販売を開催。大ホール・海では三霊山学術フォーラム、海外留学応援フェアが連動して開催され、20代の若者を中心に多くの来場者でにぎわった。



### ●東アジア食彩フェスティバル

主催:東アジア食彩フェスティバル実行委員会  
10月28日(土)~29日(日) グランシップ広場 約5,000人

「食の都」四川と韓国の料理に舌鼓を打ちながら、食文化を体験するイベント。本場の美食のみならず、変面や雑技、二胡の演奏をはじめとするパフォーマンスも行った。



## ●映像作品のロケーション撮影としての施設提供

広場や大ホール等、多様な施設やスケール感を提供するグランシップの特色を活かした利用方法を提案し、長編映画やミュージックビデオなど映像作品のロケーション撮影を誘致した。

### ●映画「もしも徳川家康が総理大臣だったら」撮影

主催:TOHOスタジオ株式会社  
11月27日(月)~12月3日(日)  
大ホール・海ほか 約1,800人



大ホールを1週間貸し切り、大勢のエキストラが参加した撮影は、映画のストーリー上欠かすことができない重要なシーンとして採用され、大きな話題となった。

また、広場での空撮は屋外カットとして採用され、複数の施設を貸し出すことで多彩なカットを提供することができた。映画「もしも徳川家康が総理大臣だったら」は、静岡市広報課や静岡市フィルムコミッションとも連携して撮影が進行した。2024年8月には、静岡市広報課による本作品の衣装・小道具の特別展示が行われ、更なる施設貸出につながった。



## ●主催者の要望に応えるホールの新たな利用方法

プロスポーツの試合会場と観客席を中ホール・大地のステージ上に設営、55mを超える大ホール・海の奥行きを活かした催事の開催等、新たな活用方法を提案し、初開催の催事をサポートした。



### ●ノジマTリーグ2023-2024シーズン 静岡ジェード公式戦

主催:静岡ジェード  
11月10日(金)~12日(日) 中ホール・大地 約900人

2023年にTリーグ(卓球リーグ)に新規参入した静岡県静岡市を拠点とする卓球のプロチーム静岡ジェード。主催試合を中ホールの舞台上にコートと観客席を設置して初開催した。劇場ならではの演出力とスポーツ観戦が融合し、普段とは違ったスタイルでの公式戦を開催した。



### ●静岡新聞社・静岡放送旗争奪 第42回静岡県綱引大会兼 竹千代杯争奪第4回小学生綱引大会

主催:静岡県綱引連盟  
12月10日(日) 大ホール・海 約500人

全日本選手権大会予選の部に加え、5つのカテゴリーで総チーム数44チーム参加にて開催。年齢や性別を超えて幅広い参加者が白熱した戦いを繰り広げた。

## ●無料Wi-Fiの環境整備

2024年2月1日から、グランシップ内のホール・会議室・練習室の全ての会場で、無料のインターネット回線を完備。これまでの光回線専用接続サービス(有料)とあわせて、オンライン会議や動画配信のほか、主催者のニーズによりかかったサービスを提供している。



## ●インターネット予約

2023年4月1日から、新たなインターネット施設予約システムを導入。従来の会議室(定員100人未満)・練習室の予約に加え、各種書類のダウンロードやオンラインでのキャッシュレス決済に対応し、利用者の利便性を更に向上させた。



## ●2023年度入館者数…572,763人

### ●主要施設の稼働実績 全体の稼働は76.7%。

	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー	ホール系計
稼働実績	207日	266日	210日	230日	269日	1,182日
利用可能日数	267日	314日	313日	315日	328日	1,537日
稼働率 稼働実績/利用可能日数	77.5%	84.7%	67.1%	73.0%	82.0%	76.9%

### ●利用者アンケート結果

回答数	3,386件/4,715件(回答率71.8%)	
結果	施設・備品が使いやすい	99.6%
	館内サインがわかりやすい	99.9%
	スタッフの対応が良い	99.9%

### ●催事開催支援サービス

グランシップでの催事開催にあたって必要な各種手配をワンストップで支援するサービス。令和5年度より警備業務が加わった。

メニュー	サービスの内容
飲食	弁当、ケータリング、パーティー
テクニカル	音響照明、看板、生花、会場設営
清掃	レイアウト転換、ごみ処理
警備	雑踏警備・駐車場警備

### ●エネルギー使用実績

電気	5,195,530 kWh
ガス	682,667 m <sup>3</sup>
エネルギー総量	81,768 GJ

## 施設のご予約・サービスに関するお問い合わせ

### (公財)静岡県文化財団 利用サービス課

054-203-5713 (受付時間9:00~18:00 ※休館日を除く)

✉ yoyaku@granship.or.jp

空き状況は  
WEBで  
ご覧いただけます



グランシップ

検索



施設予約はコチラから

## 主な貸館事業一覧

開催日	催事名	開催日	催事名
4/23(日)、 8/27(日)	2023年中部日本ダンス競技静岡県大会	11/4(土)	静岡県高等学校文化連盟 「器楽・管弦楽」専門部第27回演奏会
5/2(火)	東アジア文化都市2023静岡県 春の式典	11/5(日)	ふじのくに芸術祭邦楽演奏会
6/7(水) ～6/11(日)	第32回静岡県女流美術協会展	11/8(水) ～11/9(木)	第57回全国わさび生産者大会静岡大会 第38回全国わさび品評会
6/17(土) ～6/18(日)	第70回NHK杯全国高等学校放送コンテスト 静岡県大会	11/11(土) ～11/12(日)	日本放射線安全管理学会第22回学術大会
6/18(日)	第9回静岡県高等学校軽音楽県大会	11/13(月)	第30回静岡県図書館大会
6/29(木) ～7/1(土)	第49回日本骨折治療学会学術集会	11/19(日)	ふじのくに芸術祭2023 合唱コンクール
7/15(土) ～7/16(日)	2023ダンススポーツグランプリin静岡	11/21(火)	太平洋島嶼国・日本地方自治体ネットワーク会議
7/19(水) ～7/21(金)	TECH BEAT Shizuoka 2023	11/23(木)	ヒガナンフェスティバル ～あつまれ!学びと文化のまちに～
7/29(土) ～7/30(日)	第45回性教育指導セミナー全国大会	11/25(土)	ふじのくに美しく品格のある邑フォーラム
9/1(金) ～9/2(土)	第5回SING Live研究会	11/26(日)	ふじのくに芸術祭2023 舞台芸術部門 舞踊公演「翔の会」
9/7(木)	令和5年度静岡県すこやか長寿祭 スポーツ・文化交流大会 総合開会式	11/25(土) ～12/3(日)	ふじのくに芸術祭2023 美術展
9/16(土) ～9/18(月)	日本歯科衛生学会 第18回学術大会	12/15(金) ～12/17(日)	第27回日本統合医療学会学術大会
9/21(木)	第12回静岡県高齢者福祉研究大会	1/3(水)	2024静岡市二十歳の記念式典
9/24(日)	第39回静岡接骨学会 医療機器展示会	1/5(金) ～1/6(土)	第11回静岡県民ミュージカル「海賊」
9/25(月) ～9/29(金)	日本薬物動態学会第38回年会 第23回シクトロムP450国際会議	1/20(土)	第57回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト 高等学校の部
10/5(木)	令和5年度静岡県産業安全衛生大会	1/25(木)	第63回静岡県保育研究大会
10/18(水)	第24回商工会女性部全国大会inしずおか	1/25(木) ～1/29(月)	第34回静岡県特別支援学校高等部合同作品展
10/19(木) ～10/20(金)	第30回日環協・環境セミナー全国大会in静岡	1/27(土)	静岡県防衛協会 第43回静岡音楽祭
10/27(金)	第65回建築士会全国大会 しずおか大会	2/9(金) ～2/10(土)	第71回東海四県スポーツ推進委員研究大会
10/28(土)	東アジア文化都市・静岡県忠清南道交流10周年記念 韓国文化の日 in Shizuoka	2/16(金)	令和6年静岡県柑橘生産者大会
10/28(土) ～10/29(日)	日本産業看護学会第12回学術集会	2/18(日)	ふじのくに芸術祭 「2023授賞式」「2024総合開会式」
10/31(火)	第50回静岡県公立小中学校教頭会研究大会	2/20(火)	令和5年度「体カアップコンテストしずおか」 表彰式
11/2(木) ～11/12(日)	令和5年度静岡県高等学校総合文化祭 第71回静岡県高等学校美術・工芸展	2/29(木)	2024年3・1ピキニデー日本原水協全国集会

## その他の取組

公益財団法人静岡県文化財団は、多岐にわたる事業や取組を通じて、県民文化の振興を図っている。ここでは、これまでに取り上げていないものに関して紹介する。

### 1. 東アジア文化都市2023静岡県

静岡県は、2023年、中国成都市・梅州市・韓国全州市と並んで「東アジア文化都市」に選定され、県内全域で様々な文化活動を実施した。静岡県文化財団は、「東アジア文化都市2023静岡県」実行委員会の構成員として、県と協力して各種事業を実施するとともに、単独でも事業を実施し、東アジア文化都市事業の成功に寄与した。また、アジア域内の相互理解・連帯感の促進及び東アジアの多様な文化の国際発信力の強化にも貢献した。



東アジア  
文化都市  
2023 静岡県  
Culture City of East Asia  
2023 SHIZUOKA

「東アジア文化都市」とは、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多様な生活文化に関連する様々な文化芸術イベントを実施するもの。2014年から実施。

区分	内容
民間団体への事業費助成	財団内に「東アジア文化都市2023静岡県地域連携プログラム」窓口を設置し、認証プログラムの主催団体に対し負担金を交付（県委託事業）
財団主催事業の実施	「東アジア文化都市2023静岡県」を冠した財団主催事業を数多く開催 ● 認証プログラム ・ 東アジア文化交流フェア EAST ASIA meets SHIZUOKA ・ グランシップトレインフェスタ ほか23事業 ● コア事業 ・ グランシップ日中韓映画上映会 ・ 音楽交流事業 ウィーン風の ウィーン木管五重奏団 ● 専門協働プログラム ・ 超老芸術展
グランシップにおける公式行事等の開催	・ 東アジア文化都市2023静岡県 春の祭典
その他	・ グランシップホームページでの情報発信 ・ 来場者へのアンケート調査 ほか

## 2. ふじのくに地域づくり創造賞

社会課題への対応や地域資源を活かした創造的な活動を通して、「新しい価値を暮らしの中に」創造していくことが期待される活動の担い手に対して、2023年度に『ふじのくに地域づくり創造賞』を制定し、その功績を表彰した。

### ●2023年度受賞者



## 3. 防災訓練の実施

災害時における来館者の安全確保に万全を期すため、財団職員に加えて、常駐委託業者スタッフも参加した防災訓練を実施した。また、静岡南警察署の協力を得て、さすまたの使い方や護身術を学ぶテロ対策講習も行った。



日時	内容
4/12(水)	災害ハザードマップについて
5/9(火)	年間訓練計画説明 自衛消防組織について 消火設備の説明と確認
6/13(火)	救急救命講習
7/11(火)	火災想定事前訓練
8/22(火)	火災想定総合防災訓練
9/12(火)	火災想定総合防災訓練振り返り
10/10(火)	地震想定事前訓練
12/5(火)	地震想定総合防災訓練
2024/1/16(火)	地震想定総合防災訓練振り返り
2/6(火)	事件に対する危機管理
3/5(火)	テロ対策訓練

## 4. 県委託・補助事業

### ●子どもが文化と出会う機会創出事業

静岡県内に活動拠点を置くプロオーケストラ(富士山静岡交響楽団、シンフォニエッタ静岡)による、小学校、中学校、高校等への地域訪問プログラムと、未就学児対象コンサートによる音楽プログラム。

#### ①地域訪問プログラム 開催実績 計18会場

実施日	学校名	実施日	学校名
5/31(水)	袋井市立周南中学校	11/10(金)	裾野市立富岡中学校
6/1(木)	富士宮市立芝川中学校	11/14(火)	藤枝市立青島北中学校
6/2(金)	静岡県立掛川特別支援学校	11/20(月)	島田市立島田第一中学校
6/19(月)	磐田市立岩田小学校	12/6(水)	三島市立中学校(7校合同) 三島市民文化会館 大ホール
6/26(月)	袋井市立今井小学校	1/12(金)	静岡県立浜松大平台高等学校 定時制課程
7/10(月)	焼津市立黒石小学校		
7/18(火)	静岡県立伊豆総合高等学校 土肥分校		
9/12(火)	御前崎市立浜岡北小学校		
9/27(水)	函南町立東小学校		
11/6(月)	川根本町立中川根中学校		
11/7(火)	沼津市立静浦小中一貫学校		
11/7(火)	静岡県立伊東高等学校 定時制		
11/9(木)	磐田市立青城小学校		



#### ②未就学児プログラム 開催実績 計3会場

実施日	会場
6/17(土)	藤枝市民会館
10/22(日)	島田市総合施設プラザおおり
12/3(日)	浜松市浜北文化センター



## 5. 地域文化資源の掘り起こし

### ●書籍「しずおかの文化」配布

県内の文化資源の存在や価値を再発見し、県民の共有財産として後世に伝えていくため、書籍「しずおかの文化」を発行し、県内の図書館、高校・大学等に配布した。

#### 第7巻

### ふじのくにの人口史

発行日:2023年11月30日  
執筆:鬼頭宏



静岡県文化財団を支える人々、2023年度ご協賛・ご協力団体・企業

● グランシップサポーター

文化振興に関心があり、文化活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得て、グランシップの円滑な事業運営を図った。

(2024年3月31日現在)

業務区分	内 容	登録者数
広報サポーター	ダイレクトメール発送、広報勉強会、来館者見学案内等	43人
イベントサポーター	受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	41人
撮影サポーター	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	20人
託児サポーター	公演時の託児サービス等	4人
計	(兼務含む)	108人

● グランシップ友の会 (2024年3月31日現在)

(1) 個人会員 16,648人

(2) 法人会員 21社

【特別会員】5社

静岡ガス株式会社 鈴与株式会社 株式会社静岡新聞社 静岡放送株式会社  
株式会社しずおかフィナンシャルグループ

【一般会員】16社

株式会社ステージ・ループ静岡 静岡県ビルメンテナンス協同組合 静岡信用金庫  
株式会社ピーエーシー 株式会社テレビ静岡 ダイードリンク株式会社  
株式会社イノウエテクニカ 静岡エフエム放送株式会社 丸茂電機株式会社  
株式会社コアズ 学校法人常葉大学 株式会社望月商事  
株式会社ことのは社 株式会社東京企画装飾静岡  
国立大学法人静岡大学 株式会社近藤リース

● 特別賛助会員 株式会社イノウエテクニカ

● 特別協賛 「グランシップ&静響ニューイヤーコンサート」 静岡ガス株式会社

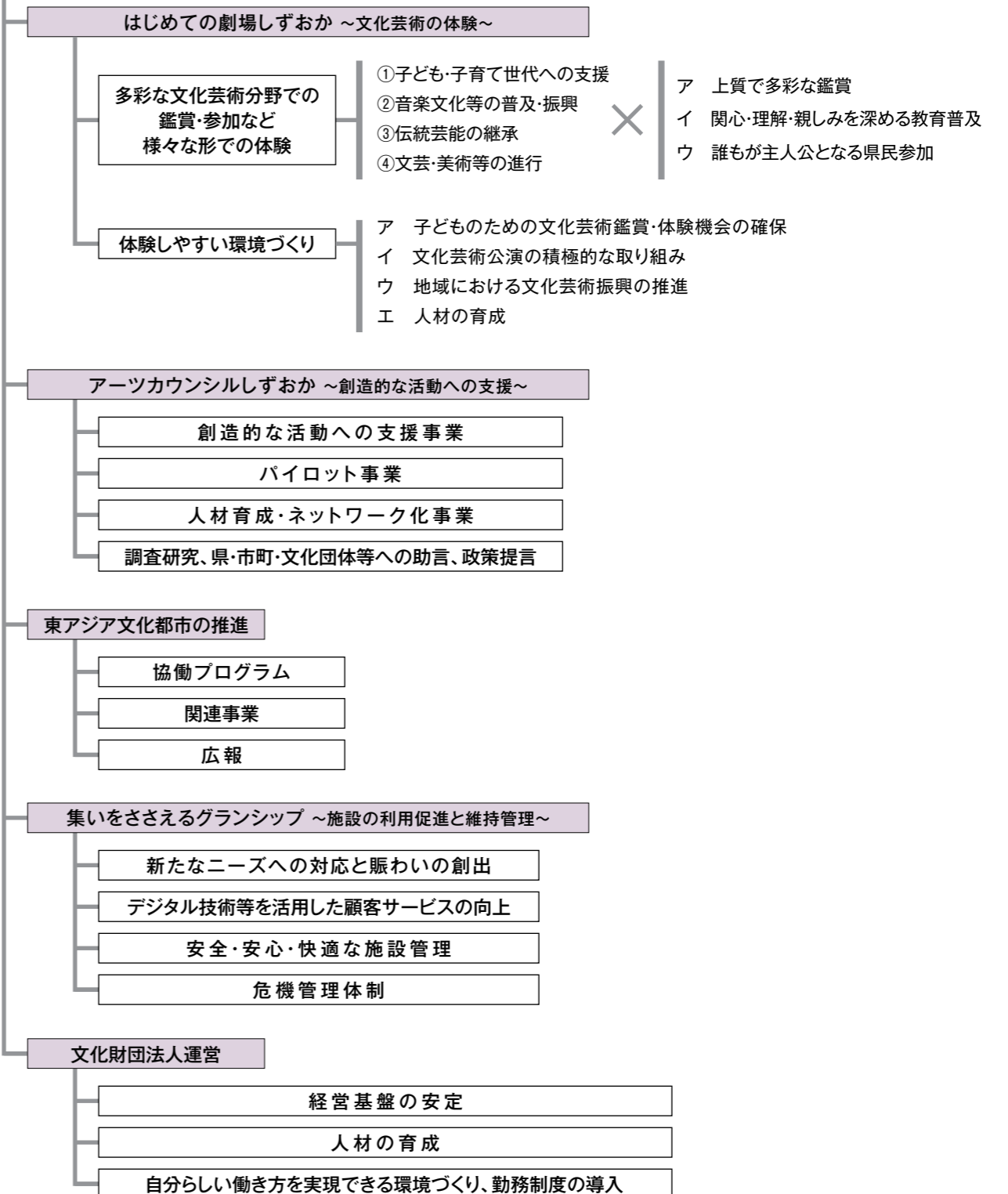
● 協賛 「グランシップ世界のこども劇場2023」 生活協同組合ユーコープ 静岡県牛乳普及協会  
「グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル」 ホテルグランヒルズ静岡  
「こどもたちのための静フィルクリスマスコンサート」 公益財団法人アイワ文化福祉財団

2023年度 公益財団法人静岡県文化財団事業体系図

静岡県文化財団は、文化の力で、県民生活の向上と活力ある社会づくりを目指します。

使 命 > ● 個性豊かな文化芸術が県民とともにある地域社会を創造する。  
● 人々が“集う・交流する”ことを促進する。

メッセージ > ~新しい価値を暮らしの中に~



# 2023年度決算状況

(単位:円)

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	文化・芸術	収益事業	友の会	小計				
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	4,030,666	0	0	0	2,687,110	—	6,717,776	
特定資産運用収益	0	0	0	0	47,148	—	47,148	
事業収益	807,396,879	527,211,718	8,060,915	535,272,633	10,314,645	△ 4,290,674	1,348,693,483	
受取補助金等	131,619,338	0	0	0	0	—	131,619,338	
受取負担金	48,250,010	0	0	0	0	—	48,250,010	
受取寄付金	0	0	0	0	0	—	0	
特別賛助会員会費	100,000	0	0	0	0	—	100,000	
雑収益	44,122	1,125,758	0	1,125,758	0	—	1,169,880	
経常収益計	991,441,015	528,337,476	8,060,915	536,398,391	13,048,903	△ 4,290,674	1,536,597,635	
(2) 経常費用								
事業費	1,002,357,773	477,049,405	9,769,446	486,818,851	—	△ 4,290,674	1,484,885,950	
管理費	—	—	—	—	21,085,943	—	21,085,943	
経常費用計	1,002,357,773	477,049,405	9,769,446	486,818,851	21,085,943	△ 4,290,674	1,505,971,893	
(3) 評価損益等計	0	0	0	0	0	—	0	
当期経常増減額	△ 10,916,758	51,288,071	△ 1,708,531	49,579,540	△ 8,037,040	0	30,625,742	
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	—	—	—	—	—	—	—	
(2) 経常外費用	9,866,625	—	—	—	—	—	—	
当期経常外増減額	△ 9,866,625	0	0	0	0	—	△ 9,866,625	
3 他会計振替額	22,266,654	△ 30,303,694	0	△ 30,303,694	8,037,040	—	0	
4 法人税、住民税及び事業税	0	7,813,800	0	7,813,800	0	—	7,813,800	
当期一般正味財産増減額	1,483,271	13,170,577	△ 1,708,531	11,462,046	0	0	12,945,317	
一般正味財産期首残高	18,031,290	207,378,633	10,850,785	218,229,418	338,780	—	236,599,488	
一般正味財産期末残高	19,514,561	220,549,210	9,142,254	229,691,464	338,780	0	249,544,805	
II 指定正味財産増減の部								
(1) 基本財産評価益	0	0	0	0	0	—	0	
(2) 基本財産評価損	5,279,123	0	0	0	3,519,416	—	8,798,539	
(3) 基本財産売却損	0	0	0	0	0	—	0	
当期指定正味財産増減額	△ 5,279,123	0	0	0	△ 3,519,416	—	△ 8,798,539	
指定正味財産期首残高	612,956,627	0	0	0	408,637,751	—	1,021,594,378	
指定正味財産期末残高	607,677,504	0	0	0	405,118,335	—	1,012,795,839	
III 正味財産期末残高	627,192,065	220,549,210	9,142,254	229,691,464	405,457,115	—	1,262,340,644	

## グランシップ概要

正式名称	静岡県コンベンションアーツセンター
所在地	静岡県静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	不定期、12月29日～1月3日
敷地面積	36,009.5㎡
建築面積	13,647.3㎡
延床面積	60,630.0㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数	地上12階、地下2階
建物全長	約200m
最大幅	約80m
最高高さ	約60m
開館	平成11年3月13日
駐車場	約400台

## グランシップ利用状況

主要施設稼働率 (単位:%)

年度	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー	全体平均
令和3年	72.0	80.9	49.7	67.3	75.2	69.4
令和4年	81.1	78.9	68.6	67.4	71.4	73.1
令和5年	77.5	84.7	67.1	73.0	82.0	76.9

※R2.9月～R3.2月は工事ににより全館休館。R3.3月～9月は一部休館。

グランシップ来館者数 (単位:人)

年度	来館者数	累計
令和3年	222,432	15,150,742
令和4年	562,017	15,712,759
令和5年	572,763	16,285,522

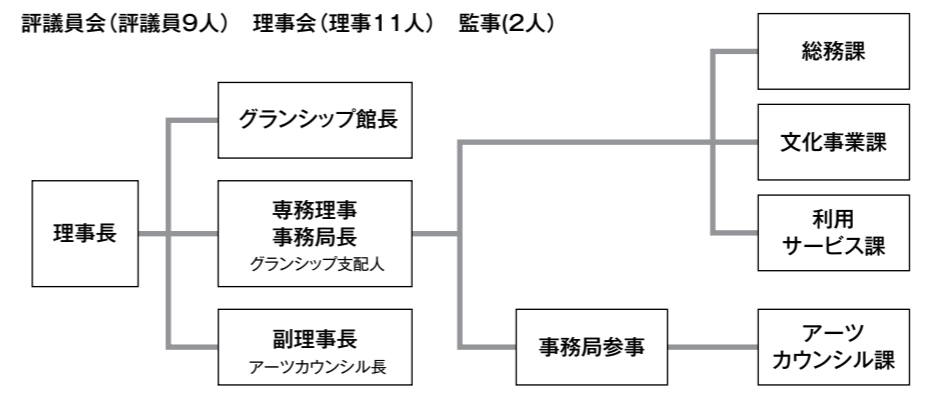
## 沿革

昭和59年5月	● 財団法人静岡県文化財団設立(基本財産:県9億円、市町村1億円、県民等47万円) 「文化鑑賞の提供事業」:地域音楽公演 「地域文化の振興事業」:文化団体への助成 「文化意識の啓発事業」:地域文化活動の顕彰 「文化情報の提供事業」:静岡の文化(季刊)の発行
昭和60年1月	● 季刊「静岡の文化」創刊号発行
平成6年	● (財)静岡県文化財団10周年記念出版「今川時代とその文化」発行
平成7年12月	● 静岡県が県民国際プラザ(仮称)建築工事着手
平成8年	● 静岡県は県民国際プラザ(仮称)の名称を「静岡県コンベンションアーツセンター」、愛称を全国公募により「グランシップ」に決定
平成10年11月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ管理運営業務受託、テストラン実施(～11年2月)
平成11年3月13日	● グランシップ開館
平成11年3月～	● グランシップ開館記念事業開催(アニメーションワークス、バルーンアートフェスティバル 他)
平成16年3月～	● グランシップ開館5周年記念事業開催(糸操り人形「夢の浮橋～人形たちの「源氏物語」」、新作能「利休」 他)
平成18年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ指定管理者として管理運営業務受託(3年間)
平成20年2月～	● グランシップ開館10周年記念事業(オペラ「椿姫」、北大路魯山人展 他)
平成21年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ第2期指定管理者として管理運営業務受託(3年間)
平成23年2月	● 季刊「しずおか文化」100号で廃刊、新たに「しずおか文化新書」発行
平成23年4月	● 文化団体への助成を見直し、「ふじのくに文化芸術振興助成」制度開始 地域音楽公演に代わり、「中高生芸術鑑賞支援(県内の中高生がグランシップで芸術鑑賞する際の交通費支援)」事業開始
平成24年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ第3期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)
平成24年12月	● グランシップと中国浙江省杭州劇院との間で友好交流協定締結
平成25年4月	● 公益財団法人静岡県文化財団としてスタート
平成27年3月末	● 新情報誌「GRANSHIP」発刊
平成29年4月	● (公財)静岡県文化財団がグランシップ第4期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)
平成31年3月～	● グランシップ開館20周年記念事業開催(春の音楽祭等)
令和3年1月	● (公財)静岡県文化財団内に「アーツカウンシルしずおか」を設置
令和3年4月	● グランシップ1階に「アーツカウンシルしずおか」を開所
令和4年4月	● (公財)静岡県文化財団がグランシップ第5期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)

### 《公益財団法人静岡県文化財団》

評議員会(評議員9人) 理事会(理事11人) 監事(2人)

(令和6年9月現在)



### 《グランシップ運営体制》

グランシップサポーター

- 【舞台設備運営】株式会社ステージ・ループ静岡
- 【設備保守・インフォメーション】株式会社イノウエテクニカ
- 【警備】株式会社コアズ
- 【清掃】静岡県ビルメンテナンス協同組合
- 【レストラン・ケータリング】株式会社なすび